北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	アジア語学特殊講義（韓国語）	科目コード	8033	単位数	2
担当者名	水野　俊平	開講時期	１前／１後	開講年次	1年次

授業の到達目標及びテーマ

本講義は、韓国語科目未履修者を対象とし、韓国語の基礎的知識と韓国語文献の読解能力の習得を目指す。辞書を用いることで、最低限、新聞記事の読解が可能となる水準の達成を目標とする。なお、本講義の目的は会話力の習得ではなく、読解力の養成に重点を置いている点に留意されたい。

授業の概要

本学の教育方針である「躍動する北東アジア地域の発展に貢献する」理念、ならびに「国際的視野に立つ異文化コミュニケーション能力の涵養」という学位授与方針に則り、本科目では基礎的な韓国語を習得し、韓国語文献を読解する能力を涵養する。また、単なる言語能力の習得にとどまらず、韓国語学（言語学）の音声学・音韻論・文法論・意味論の基礎もあわせて学ぶ。

授業計画

1週目 音声学における母音の概念を学び、韓国語の母音・二重母音を学ぶ。
2週目 音声学における子音の概念を学び、韓国語の子音を学ぶ。
3週目 音韻論における「音節」の概念を学び、韓国語の音節末子音を学ぶ。
4週目 韓国語の発音の法則（有声音化、連音化、鼻音化）と音声学的背景を学ぶ。韓国語の漢字音について学ぶ。
5週目 韓国語の品詞分類、助詞と「指定詞」に分類される品詞の機能について学ぶ。名詞構文を習得する。
6週目 韓国語の品詞分類と指示代名詞の機能について学び、指示代名詞が用いられた名詞構文を習得する。
7週目 韓国語の品詞分類と動詞・形容詞の機能について学び、動詞・形容詞が用いられた構文（肯定文、疑問文、否定文）を習得する。あわせて中間試験を実施する。
8週目 韓国語の品詞分類と数詞の機能を学び、個数・時刻・時間をあらわす表現を習得する。
9週目 韓国語の品詞分類と「存在詞」に分類される品詞、依存名詞の機能について学ぶ。「存在詞」と依存名詞が用いられた表現を習得する。
10週目 韓国語の時制について学び、動詞・形容詞の過去形と変格活用を習得する。
11週目 韓国語の終結語尾について学び、命令文、勧誘・依頼文、禁止文を習得する。
12週目 韓国語の接続語尾について学び、羅列・動作の連続をあらわす終結語尾が用いられた表現を習得する。終結語尾（羅列・動作の連続）が用いられた簡単な文章を読解する。
13週目 韓国語の接続語尾について学び、理由・原因をあらわす終結語尾が用いられた表現を習得する。終結語尾（理由・原因）が用いられた簡単な文章を読解する。
14週目 韓国語の転成語尾について学び、冠形形語尾（連体形語尾）が用いられた表現を習得する。冠形形語尾（連体形語尾）が用いられた簡単な文章を読解する。
15週目 韓国語の接続語尾について学び、接続語尾（逆説）が用いられた表現を習得する。接続語尾（逆説）が用いられた簡単な文章を読解する。
16週目 これまでの学習内容を復習し、簡単な韓国語文献を読んでみる。あわせて期末試験を実施する。ただし、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行う。

テキスト

自主作成した教材を配布する。教材を別途購入する必要はない。

参考書・参考資料等

汪波『韓国語実用語法教程』外語教学与研究出版社、2017年（49元）

成績評価の方法・基準

基本的に試験（５０%）＋単語テスト（２０%）＋発表・課題（３０%）という比率で成績を算出する。

更新日付

2026/07/02 09:39